

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月7日
【四半期会計期間】	第47期第3四半期 (自平成25年10月1日至平成25年12月31日)
【会社名】	株式会社ソフトクリエイイトホールディングス
【英訳名】	SOFTCREATE HOLDINGS CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 林 勝
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号
【電話番号】	03-3486-0606(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理IR部長 佐藤 淳
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号
【電話番号】	03-3486-0606(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経理IR部長 佐藤 淳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期 連結累計期間	第47期 第3四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	7,313,519	8,218,146	10,048,605
経常利益 (千円)	891,978	1,005,404	1,252,971
四半期(当期)純利益 (千円)	460,365	488,668	645,305
四半期包括利益又は 包括利益 (千 円)	472,381	553,145	711,844
純資産額 (千円)	5,052,618	5,893,599	5,310,344
総資産額 (千円)	6,912,561	7,992,520	7,719,055
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	36.17	36.34	50.66
潜在株式調整後1株 当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	35.57	34.31	49.36
自己資本比率 (%)	71.0	71.4	66.7

回次	第46期 第3四半期 連結会計期間	第47期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期 純利益金額 (円)	11.34	14.46

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用関連会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な連結子会社及び持分法適用関連会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用関連会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アメリカの財政状況や中国経済の減速懸念など海外景気の一部に懸念はあるものの、安倍政権が掲げる経済政策「アベノミクス」への期待を背景にした株高・円安傾向が加速し、個人消費の着実な持ち直しや企業の設備投資に改善の兆しが現れるなど、景気は回復基調で推移いたしました。

当社グループが属するIT業界は、EC市場の拡大を背景としたECサイト構築需要の拡大やスマートフォン・タブレット端末の急激な普及、2014年4月に控えたWindows X PのOSサポート終了に伴うパソコンの買替え需要の拡大など、企業のIT投資は順調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループはECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」を活用したECサイト構築ビジネスの拡大に注力したことに加え、リスティング広告・SEO対策等のプロモーションサービスの拡大に注力し、デジタルマーケティング分野でのビジネス領域の拡大を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は82億18百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益は9億80百万円（同23.9%増）、経常利益は10億5百万円（同12.7%増）、四半期純利益は4億88百万円（同6.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ECソリューション事業

ECソリューション事業は、ECサイト構築パッケージ「e c b e i n g」を活用したECサイト構築売上高が順調に伸長したことや、リスティング広告・SEO対策等のプロモーションサービス売上高の伸長により、売上高は36億92百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は8億30百万円（同3.0%増）となりました。

システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業は、ウェブフォーム・ワークフロー「A g i l e W o r k s」のプロダクト売上高の伸長により、売上高は16億85百万円（前年同期比5.5%増）となったものの、受託開発の減少等によりセグメント利益は4億98百万円（同15.4%減）となりました。

物品販売事業

物品販売事業は、2014年4月に控えたWindows X PのOSサポート終了に伴うパソコンの買替え需要の拡大により、売上高は28億40百万円（前年同期比22.7%増）、セグメント利益は1億89百万円（同71.6%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題に重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しについての重要な変更はありません。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

資産の変動について

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は79億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億73百万円の増加となりました。これは、主に投資有価証券が2億28百万円増加したこと等によるものであります。

負債の変動について

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は20億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9百万円の減少となりました。これは、主に未払法人税等が1億96百万円、賞与引当金が1億26百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の変動について

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は58億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億83百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が2億65百万円増加、第三者割当による自己株式の処分の実施及び自己株式の取得により、資本剰余金が97百万円増加及び自己株式が1億46百万円減少したこと等によるものであります。

(6) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営者の問題認識と今後の方針についての重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	51,000,000
計	51,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年2月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,775,139	13,775,139	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	13,775,139	13,775,139		

(注) 提出日現在の発行数には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日 ~ 平成25年12月31日		13,775,139		854,101		884,343

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成25年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 126,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,646,100	136,461	
単元未満株式	普通株式 2,939		
発行済株式総数	13,775,139		
総株主の議決権		136,461	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式92株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソフトクリエイト ホールディングス	東京都渋谷区渋谷2-15-1	126,100		126,100	0.91
計		126,100		126,100	0.91

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,617,513	2,604,772
受取手形及び売掛金	1,884,513	1,528,158
電子記録債権	-	11,615
有価証券	1,141	25,152
商品	155,210	203,869
未成業務支出金	99,858	231,947
その他	322,597	542,123
貸倒引当金	524	764
流動資産合計	5,080,311	5,146,875
固定資産		
有形固定資産	315,173	253,434
無形固定資産	410,276	432,089
投資その他の資産		
投資有価証券	1,539,440	1,767,810
その他	385,711	404,798
貸倒引当金	11,857	12,486
投資その他の資産合計	1,913,294	2,160,121
固定資産合計	2,638,744	2,845,645
資産合計	7,719,055	7,992,520
負債の部		
流動負債		
買掛金	954,425	903,084
未払法人税等	293,835	97,421
賞与引当金	236,569	109,779
工事損失引当金	33	842
その他	621,458	655,310
流動負債合計	2,106,321	1,766,437
固定負債		
退職給付引当金	134,104	148,725
役員退職慰労引当金	155,554	148,018
その他	12,731	35,740
固定負債合計	302,390	332,484
負債合計	2,408,711	2,098,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	848,707	854,101
資本剰余金	905,532	1,003,088
利益剰余金	3,636,281	3,902,067
自己株式	283,599	136,640
株主資本合計	5,106,921	5,622,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,485	86,371
その他の包括利益累計額合計	42,485	86,371
新株予約権	23,321	38,204
少数株主持分	137,615	146,405

純資産合計	5,310,344	5,893,599
負債純資産合計	7,719,055	7,992,520

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,313,519	8,218,146
売上原価	4,990,147	5,654,350
売上総利益	2,323,372	2,563,796
販売費及び一般管理費	1,531,861	1,583,256
営業利益	791,510	980,540
営業外収益		
受取利息	5,803	18,669
受取配当金	278	9,050
受取手数料	4,920	-
為替差益	92,688	-
貸倒引当金戻入額	1,844	27
その他	1,422	8,606
営業外収益合計	106,957	36,354
営業外費用		
為替差損	-	5,804
持分法による投資損失	5,777	912
その他	712	4,773
営業外費用合計	6,490	11,490
経常利益	891,978	1,005,404
特別利益		
投資有価証券売却益	148	68,674
保険解約返戻金	4,306	-
その他	94	-
特別利益合計	4,549	68,674
特別損失		
投資有価証券評価損	2,103	-
固定資産除却損	16,257	72,106
事務所移転費用	50,740	128,267
その他	11,821	59
特別損失合計	80,922	200,433
税金等調整前四半期純利益	815,604	873,645
法人税、住民税及び事業税	284,942	280,448
法人税等調整額	55,502	83,937
法人税等合計	340,445	364,386
少数株主損益調整前四半期純利益	475,158	509,258
少数株主利益	14,793	20,590
四半期純利益	460,365	488,668

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	475,158	509,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,777	43,886
その他の包括利益合計	2,777	43,886
四半期包括利益	472,381	553,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,587	532,554
少数株主に係る四半期包括利益	14,793	20,590

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(財政状態、経営成績又はキャッシュ・フローの状況に関する事項で、企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	198,763千円	202,718千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月9日 取締役会	普通株式	84,724	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金
平成24年11月1日 取締役会	普通株式	84,890	20.00	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月9日 取締役会	普通株式	106,866	25.00	平成25年3月31日	平成25年6月7日	利益剰余金
平成25年11月1日 取締役会	普通株式	116,016	8.50	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

(注)平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

2 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年5月1日開催の取締役会において、日本ユニシス株式会社を引受先とした第三者割当による自己株式の処分を実施することを決議し、平成25年5月17日に払込を受けております。この結果、資本剰余金が98,230千円増加、自己株式が217,869千円減少しております。

また、平成25年9月25日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得により、自己株式が108,800千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が97,556千円増加、自己株式が146,959千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が1,003,088千円、自己株式が136,640千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ECソリューション事業	システムイン テグレーション事業	物品販売 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,400,109	1,597,974	2,315,435	7,313,519		7,313,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,400	79,262	49,307	133,970	133,970	
計	3,405,509	1,677,237	2,364,743	7,447,489	133,970	7,313,519
セグメント利益	806,329	589,347	110,322	1,505,999	614,021	891,978

(注)1 セグメント利益の調整額 614,021千円は、セグメント間取引 50,714千円、その他調整額70,368千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 633,674千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ECソリューション事業	システムイン テグレーション事業	物品販売 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,692,679	1,685,299	2,840,167	8,218,146		8,218,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,410	25,158	87,454	119,023	119,023	
計	3,699,089	1,710,458	2,927,622	8,337,170	119,023	8,218,146
セグメント利益	830,383	498,876	189,276	1,518,536	513,132	1,005,404

(注)1 セグメント利益の調整額 513,132千円は、セグメント間取引111,662千円、その他調整額 58,558千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 566,236千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	36円17銭	36円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	460,365	488,668
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	460,365	488,668
普通株式の期中平均株式数(株)	12,727,301	13,446,257
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	35円57銭	34円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	215,176	795,993
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 平成25年7月1日付で1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第47期(平成25年4月1日から平成26年3月31日)中間配当については、平成25年11月1日開催の取締役会において、平成25年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	116,016千円
1株当たりの金額	8円50銭
支払請求権の効力発生日又は支払開始日	平成25年12月3日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

株式会社ソフトクリエイイトホールディングス

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂 田 純 孝

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 日 高 真 理 子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソフトクリエイイトホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソフトクリエイイトホールディングス及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。